

## 平成26年度事業計画(案)

(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

昨今の環境問題を取り巻く社会情勢は、特に地球環境をはじめ地域の環境が大きく変化してまいりました。

私達住民もこの問題に大きく関り、今までの自身のライフスタイルからおのずと変革を求められる時代背景へと移り変わり変わってまいりました。

身近では東員町も行財政改革の中に公から民への住民の関りが求められようとしています。

当法人も市民活動の立場で「東員町ごみゼロプラン」の一層の推進を図る為、住民に対して啓蒙活動の一役を担いながら基本理念であります「ごみゼロ社会の実現をめざして」に向けて、当法人の存在価値を高めていく事を目指し、昨年につき、東員町より受託した「ごみ減量・生ごみ堆肥化事業」を東員町の協働のパートナーとして、当法人が持続的な発展と、これらの目的を達成するため、下記の事業を実施します。

### 記

#### 東員町堆肥化事業

生ごみ堆肥化事業のさらなる普及・啓発に努め、参加世帯数を 250 世帯を目標とし、拡大に努める

#### 普及・啓発事業

上記の目的達成の為、従来の講演会事業を進化させ、より一層の普及に努める。

リサイクルステーション、エコキャップの回収をツールに資源の再利用、ごみ減量の大切を住民と共に共有し、拡大に努める。

#### 財源の確保

持続的な活動を行うには、常にファンディングに執行部が共有し、その為に蓄積したネットワーク、ノウハウを活用し、個人会員、法人会員の増強と共にファンドの拡大に努める。

生ごみ堆肥化委託事業費の適正化に努める。

#### エコの館事業

施設所有者からの返還の求めと、一定の目的を達成した事により、今年末をもって終了する。